

## 司書教諭の専任化について【国への要望】

### 要望内容

学校図書館の読書センター機能の充実と学習・情報センター機能の向上を図るため、司書教諭が業務に専念できるよう、教職員定数における追加措置について、国に働きかけていただきたく、特段の配慮をお願いしたい。

### 現状と課題

学校図書館は、読書活動の推進のために利用されることに加え、調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学びを効果的に進めていく役割が一層期待されている。

本市では、市内全小中学校に民間委託による学校司書の配置を行っているところであるが、司書教諭が学級担任等の他の業務との兼務であるため、学校司書と学校図書館運営や学習活動支援等について話し合う時間が十分に持てないなど、その連携に課題がある。

今後、主体的・対話的で深い学びを推進するにあたり、司書教諭が学校司書と連携し、学校図書館で授業支援を行う頻度は増加すると考えられる。学校図書館の学習・情報センター機能を向上させつつ、司書教諭が業務に専念できるよう専任化が必要である。

### 事業実施による効果

- 1 児童生徒に対して、学校図書館における学習活動に必要な資料や情報をより詳しく案内することができる。
- 2 司書教諭が中心になって学校図書館運営に携わるスタッフが組織化され、学校図書館の機能強化を図ることができる。
- 3 公立図書館との連携がこれまで以上に活性化され、より質の高い読書指導ができるとともに、児童生徒が生涯にわたって本に親しむ態度を育成することができる。

要望先：滋賀県教育委員会事務局 特別支援教育課

## 県立特別支援学校（草津養護学校）の新設分離について 【県への要望】

### 要望内容

特別支援教育の充実のため、県立特別支援学校（草津養護学校）の新設分離について、特段の配慮をお願いしたい。

### 現状と課題

#### 【現状】

- ・草津養護学校は児童生徒数が県内で多い学校であり、376名（令和4年4月1日）である。
- ・草津市からは毎年、小中高等学部へ20～30名程度の入学転学者があり、376名のうち、171名（令和4年4月1日）が草津市の児童生徒である。
- ・医療的ケアの必要な児童生徒の教室の前には、十分な教室の広さが確保されていないため、車いすやベッド等が廊下に並んでいる。
- ・小学部、中学部の遊び場が中庭しかない。
- ・教室が足りないため、特別教室を教室として使用している。

#### 【課題】

- ・児童生徒数の増加に伴い、教室の数が足りない状況である。
- ・スクールバスや放課後デイサービスの車を駐車するスペースが少なく、前庭に駐車しているため、危険である。
- ・大半の児童生徒がバスで通学し、校区も広いため、1時間以上バスに乗って通学をしている児童生徒もいる。
- ・教室前の廊下に車いすやベッドが常時並んでいる状態であり、常時の危険もさることながら、災害の発生時には、さらに混乱が予想される。

### 事業実施による効果

- ・特別の支援を必要とする児童生徒が、安全で安心できる環境の中で、適切な指導を受けることができ、特別支援教育のさらなる充実が図られる。

担当：教育委員会事務局 児童生徒支援課 児童生徒支援係  
TEL：077-561-2437